



ROCK PAINT

Technical Data Sheet TDS NO. OR120415-①

ORD/TTS/APD

1 / 4

その他周辺剤 Ver.2-1

02/20/18

For Professional Use Only

エコマルチブレンダー / スロー

環境配慮型 共用ボカシ際処理剤

商品概要・用途

ボカシ際をきれいで滑らかな仕上がりになるように整える目的で使用する処理剤です。
ベースコート及びトップコートクリヤーに共通して使用できます。

品目コード(品番・缶種)・品名・容量 / 商品外観

051-4F11-02	エコマルチブレンダー	3.785L
051-4F41-02	エコマルチブレンダー スロー	3.785L



特長

- ・労働安全衛生法(特化則)に対応、PRTR届出不要の環境配慮型塗料です。(2018年1月現在)
- ・ボカシ塗装時のスプレーミストのなじみ性を向上させる効果があります。
- ・シルバーメタリック系塗色におけるボカシ際の黒ズミの発生を抑える効果があります。

使用可能な塗料

- ・077L プロタッチ & プロタッチ モノコート
- ・088L パナロック & パナロックマルス2K
- ・149L エコロック 各種クリヤー
※149-8650 エコロック アンチスクラッチクリヤー TQには使用できません。
専用のボカシ剤、149-8600 エコロック アンチスクラッチ TQ ボカシ剤をご使用ください。
- ・150L マルチトップ 各種クリヤー

保管条件 / 貯蔵安定期間



5℃～40℃

3年間 (未開封時)

保護具 / 安全衛生



適切な安全保護具を着装してください。



詳細は安全データシート(SDS)を参照ください。

エコマルチブレンダー / スロー

For Professional Use Only

語句説明

- ・ボカシ際処理剤 = エコマルチブレンダー / エコマルチブレンダー スロー
- ・ボカシ剤 = ボカシ際処理剤 + クリヤー (+ 硬化剤)
- ・ボカシ剤プレコート = ベースコートのボカシ塗装時にボカシ剤をあらかじめ塗布する事
- ・ボカシ剤アフターコート = ベースコートのボカシ塗装工程時の途中や最後にボカシ剤を塗装する事
- ・クリヤーボカシ剤塗装 = トップコートクリヤーをボカシ際処理剤で段階的に薄めて塗装する事

塗装方法: ベースコート ボカシ塗装



■ ボカシ剤プレコート

ベースコート塗装前に、プラサフ塗装部位以外の面全体へ1~2回薄く塗布してください。
ベースコートのボカシ塗装時に飛散するスプレーミストをなじませる効果や静電気等の影響による筋引き現象を抑える効果があります。

※1コート目は垂らさないよう塗布量に注意してください。

※プラサフ部にボカシ剤が過度に付着した場合は、エアブローでプラサフ部のみ乾燥させてからベースコートを塗装してください。

■ ボカシ剤アフターコート

ベースコートのボカシ塗装工程時の途中や、最後にスプレーミストのなじみ具合に応じてボカシ剤を塗装してください。

※ソリッド系塗色はベースコート塗装部分に少しオーバーラップぎみにボカシ剤を塗装し、メタリック・パール系塗色では、オーバーラップによりボカシ際がウェットになり過ぎないように注意して下さい。泳ぎムラの原因になります。

※ボカシ剤を複数回塗装する際は塗布量を控えて注意しながら塗装することを推奨します。

標準塗装条件: 077L プロタッチ ベースコート ボカシ塗装



- 100 077-P150 プロタッチ ニゴリクリヤーP
- 400 エコマルチブレンダー / エコマルチブレンダー スロー



- スプレーガン口径 1.3~1.5mm
- スプレー圧力 0.15~0.25MPa (手元圧)



- 1~2回 シングルコート



- ・エコマルチブレンダー / スローは、単体でボカシ剤として使用することはできません。
- ・25℃を下回る温度域でのエコマルチブレンダー スローの使用は垂らさないように塗布量に注意してください。25℃を超える温度域ではエコマルチブレンダー スローの使用を推奨します。
- ・エコマルチブレンダー とエコマルチブレンダー スローは任意で混合し調整可能です。

エコマルチブレンダー / スロー

For Professional Use Only

標準塗装条件:088L パナロック ベースコート ボカシ塗装



100 10	}	100 500	}	1 5	}	配合済オートクリヤー エコマルチブレンダー / スロー
		パナロック / パナロックマルス2K オートクリヤー ※ ¹ パナロック 硬化剤 / 硬化剤 速乾型 ※ ² エコマルチブレンダー / スロー ※ ³				

下記の配合表も参考にしてください。

- ・①は必要量分のボカシ剤を作る場面で最適な配合方法です。
マイコンスケールⅣを使用して必要量を入力の上、各配合率に従い配合してください。
- ・②③は正確な必要量を求めずにボカシ剤を作る場面で活用できる配合方法です。
いずれの配合方法もオートクリヤーに硬化剤を配合した塗料を先に準備しておき、マイコンスケールⅣを使用して配合してください。作り足しする場合等で有効です。

品番 品名	配合率(%)		
	①	②	③
※ ¹ 088-0150 / 088-M150 オートクリヤー	15.0	20%	100%
※ ² 088-0110 / 088-0140 パナロック硬化剤	1.5		
※ ³ 051-4F11 / 051-4F41 エコマルチブレンダー / スロー	83.0	100%	500%
合計	99.5	—	

※1 オートクリヤーは、下表より塗装する色タイプによって選択してください。
詳細は『パナロック』TDSを参照ください。

色タイプ (塗装種)	1CS	2CS 3CP(C.B) 3CC(C.B:フメ)	M/P 3CC(C.B:メタ/パール)	3CP(P.B)	3CC(C.C)
オート クリヤー	088-0150	088-0150	088-M150	088-M150	088-0150

※2 『パナロック』TDSに記載の「硬化剤選択表」を参照し、選択してください。

※3 25℃を下回る温度域でのエコマルチブレンダー・スローの使用は垂らさないように塗布量に注意してください。25℃を超える温度域ではエコマルチブレンダー・スローの使用を推奨します。

エコマルチブレンダーとエコマルチブレンダー・スローは任意で混合し調整可能です。



スプレーガン口径 1.3~1.5mm
スプレー圧力 0.15~0.25MPa (手元圧)



1~2回 シングルコート



- ・必ず硬化剤を配合してください。
- ・エコマルチブレンダー / スローは、単体でボカシ剤として使用することはできません。

エコマルチブレンダー / スロー

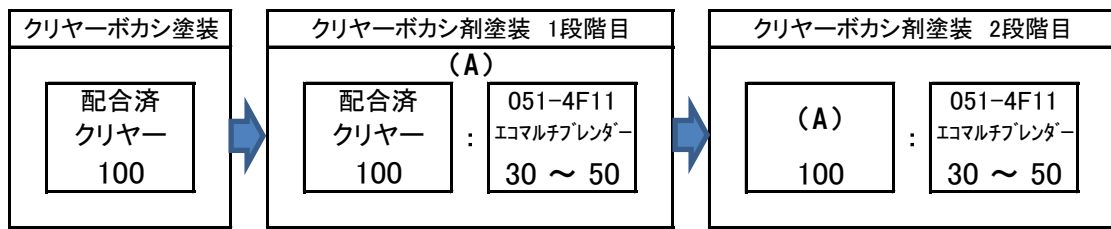
For Professional Use Only

塗装方法: トップコートクリアー ポカシ塗装



- ・クリアーポカシ剤塗装を段階的に行う前の最初のクリアーポカシ塗装は、配合済みクリアーそのままをガンを振る操作要領でポカシ塗装を行います。
- ・連続して、クリアーポカシ剤塗装の1段階目は手早くポカシ際を狙って広げるようにポカシ塗装し、さらにクリアーポカシ剤塗装の2段階目も同様に続けてポカシ広げるように塗装してください。
- ・徐々に薄く滑らかで最終のポカシ際が細かなスプレーミストになる為に、ガンの操作を含め一連の作業を手際良く行う必要があります。温度域によりブレンダー・スローとの使い分けもしてください。
- ・クリアーポカシ剤塗装は垂らさないよう塗布量に注意しながら塗装してください。
- ・濃色系塗色の場合、さらにクリアーポカシ剤塗装の3段階目を行うと効果的です。2段階目で使用した塗料に目見当でおよそ10倍程度、ポカシ際処理剤を追加し攪拌してから塗装してください。
- ・段階的に塗装を行うクリアーポカシ剤塗装ですが、ポカシ方向のみならず反対方向のスプレーミストにも注意し、オーバーラップしながら肌を整える塗装を行うと効果的です。
- ・1コートソリッドのトップコートカラーの場合には、『パナロック』TDSを参照ください。

標準塗装条件: トップコートクリアー ポカシ塗装



スプレーガン口径 1.3~1.5mm
スプレー圧力 0.10~0.15MPa (手元圧)



2回 シングルコート



- ・クリアーポカシ塗装時の旧塗膜の足付けは、細目以上のコンパウンドを使用して深い傷が入らないよう丁寧に処理を行ってください。
- ・ポカシ際の塗膜が切れないよう乾燥時間を長めにとり、注意してポリッシング作業を行ってください。

■Copyright © 2018 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.

本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。

本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。

実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。

本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。